

市長と白岡の未来を語ろう
「ふれあいミーティング」
実施報告書

令和8年4月

目次

1. 実施概要	1
(1) 目的	1
(2) 開催日時等	1
(3) 当日の進め方	2
2. 実施結果	3
(1) 第1回ふれあいミーティングの意見概要.....	3
(2) 第2回ふれあいミーティングの意見概要.....	5
(3) 第3回ふれあいミーティングの意見概要.....	7
(4) 第4回ふれあいミーティングの意見概要.....	10
(5) 第5回ふれあいミーティングの意見概要.....	12

1. 実施概要

(1) 目的

第6次白岡市総合振興計画後期基本計画の策定に向けて、市民がより幸せを実感できるまちづくりを進めるため、市民と市長が身近な幸せや将来の白岡市について意見交換をしていただき、市民意見を計画に反映させることを目的に実施しました。

(2) 開催日時等

参加者は、市内在住・在勤・在学の方を対象として募集し、市公式ホームページ、広報しらおかなどで周知し、メール又は電話による申込みとしました。また、当日参加も受け付けました。

回	日時	場所	参加者数
第1回	令和7年8月24日(日) 10:00~12:00	白岡駅西口駅前会議室	11名
第2回	令和7年9月6日(土) 14:00~16:00	上野田公会堂	28名
第3回	令和7年9月28日(日) 10:00~11:50	大山庁舎(旧大山小学校) 図工室	15名
第4回	令和7年10月18日(土) 10:00~11:30	新白岡ノースプラザ	12名
第5回	令和7年10月26日(日) 10:00~12:00	中央公民館 学習室2	15名



(3) 当日の進め方

各回は大まかな流れは表のとおりとし、参加者数や意見内容等に応じて適宜調整の上、進行しました。

所要時間 (※)	内容
9:45- (15分)	開場・受付
10:00-10:10 (10分)	開会・オリエンテーション ・市長挨拶 ・職員等の紹介 ・本日の進め方の概要
10:10-11:00 (50分)	職員がファシリテーターを務め意見交換 ① 自己紹介 (お1人1分程度、10分) ② わたしが幸せを感じることに (10分) ③ 未来の白岡市でどんな幸せを感じたいか (15分) ④ 幸せを感じ続けられるために、白岡市の中で生かせるものや必要なもの (15分)
11:00-11:20 (20分)	全体の意見交換
11:20-11:30 (10分)	市長からのコメント
-11:30	閉会

(※) 午前開催の場合



2. 実施結果

(1) 第1回ふれあいミーティングの意見概要

【わたしの幸せ】

- 元荒川沿いの散歩。普段とは違った空気感を味わえる。自然を身近に感じられる。
- 働く喜びを感じられる。
- 健康が主体。
- レストラン等での友だちとのおしゃべり。

【未来の白岡市での幸せ】

- 居場所づくりが大切。箱モノは必ずしも賛成でないが、暮らしの拠点となるコミュニティセンターのようなものがあれば良い。
- 立地や自然などの地域特性を生かしたにぎわいの場があると良い。

【生かせるもの】(良いところ)

- 白岡市には、土地が安いから移り住んだ。
- フリーランスで自宅で仕事をする分には不自由はない。
- 柴山沼の自然と交通利便性を生かし、白岡市の特産物をPRしたり、売り買いする施設がつかれないか。市内外から家族や友人が集まって自然を感じながら一日過ごせる場。道の駅と芝生広場を整備する等。
- フラットで緑が多い。
- 公園に緑が多く、生き物が豊富なこと。
- 総合運動公園は充実している。高岩公園でグラウンドゴルフもできる。
- 白岡市B&G海洋センターのプールが安価に利用できる。
- 健だま体操など集まれる機会がある。
- 住宅周辺に農地も多い。農に関われば、土日働く喜びを得られる。
- 広域交通の便が良い。新宿に行くにも便利。
- スーパーは多く揃っている。
- 県道さいたま栗橋線沿道にはレストランなども多い。
- 白岡には広い土地がある。モラージュほど大きくなくても複合施設等ができないか。

【必要なもの】(気になるところ)

- こどもの学用品が、久喜市まで行かないと買い揃えられない。
- ショッピングモールができればいい。モラージュのような大きなものでなく、日常生活に必要なものが買えればよい。本屋がない。
- 新白岡も街びらきから30年以上が過ぎ、一区切り。問題はこれから。
- かつては良い意味で何もないと感じていたが、不自由を感じるようになってきた。
- 介護予防の充実が必要。精神障害のある人でも集える場づくりを。
- 仕事を終えて新白岡駅に降り立つと、買物や食事をするところがない。
- 新白岡の駐輪場の跡地がもったいない。図書館を置く等の有効活用を。

- 車を運転できないと不自由。出かけられない、集まらない。歩道が狭く、危険箇所も多い。
- 路面が暑くベビーカーや歩行者が大変なので、遮熱塗装などして照り返しを防いではどうか。
- 西地区では今までコミュニティバスを利用していたが、廃止になってしまった。
- 西小周辺は路上駐車が多い等あって危険で、遠回りして通学するなどの不便がある。
- 農用地を一般の人も購入できるようにできないか。

【その他】

- 戦争経験を語り継ぐ仕組みをつくれぬか。常設展示や、経験者のインタビュー動画等、常時触れられてメッセージを感じられるものとするのが良い。

※【わたしの幸せ】【未来の白岡市での幸せ】については、まとまって話されなかったが、【生かせるもの】(良いところ)、【必要なもの】(気になるところ) から伺い知ることができる。

白岡市での幸せを感じるためのキーワード

居場所づくり、地域特性を生かしたにぎわいづくり など

(2) 第2回ふれあいミーティングの意見概要

<p>【わたしの幸せ】</p> <ul style="list-style-type: none">○美味しいものを食べるのが幸せ。○健康でいたい。将来はピンピンコロリが理想。いつまでも元気で動けるよう、運動を続けたい。○高齢になっても草刈りボランティアなどできることをする。外出することは精神衛生にもよい。
<p>【未来の白岡市での幸せ】</p> <p>—</p>
<p>【生かせるもの】(良いところ)</p> <ul style="list-style-type: none">○菁莪地区は、田園風景が広がる一方で公共施設なども集積しており、大変便利だ。○友人には「梨のまち」と紹介している。河川・水路が多い「水のまち」でもある。○水害が少なく、地形も恵まれている。貝塚や石器が発掘され、以前から陸地だったため、災害に強い。○現役の時は、都内で働いて帰ってきたら田園の中という点が良かった。農地があって家庭菜園もできて満足。都心よりも広い住居が持てる。○「東武動物公園の隣」「大宮の隣」「クレヨンしんちゃんて有名な春日部の隣」など色々な紹介の仕方があるが、交通便利性と住みよさをPRしたらよい。○御成街道の街路樹がすっきりした。道路がきれいになると安心で、周辺もきれいになっていくことが期待できる。○元気に挨拶してくれる良い子が多い。菁莪小は小規模だが、それを生かした魅力ある学校づくりが可能なのではないか。○菁莪小・中を義務教育学校として、特色ある教育を展開できないか。学校が拠点となって、人が集まる場づくりをするのも大切である。○お祭りが盛んなのが良い。伝統には配慮しつつ、夏でなく秋開催のお祭りが多くなれば、地域住民や子ども同士の交流も盛んになるのでは。○この公会堂で実施している「健康カフェ」など、高齢者の居場所づくりについても取組が進められている。このような取組を、各行政区にもっと波及させればよい。○老人クラブでは体操やカラオケ、催し物を楽しめる。
<p>【必要なもの】(気になるところ)</p> <ul style="list-style-type: none">○高齢化が進む中、子どもの見守りボランティアなど担い手確保が今後の課題となる。空家対策や、自主防災に関する取組も大切である。地域の防災関係者の意見をもっと聞くべきだし、市職員は地域の担い手にもっと寄り添った対応をしてほしい。○菁莪には、以前は子どもが多かったが、最近は少なくなって寂しい。大山小学校が今年3月に統廃合になったが、同じく子ども数が少ない菁莪小学校の存続が心配。今後小中一貫校や義務教育学校などとすることも含めて検討してほしい。○若い人が結婚しないのは深刻な問題。出会いの場が必要。

- 地区によっては、公園の整備が遅れていると感じている。
- グラウンドゴルフをしている総合運動公園の芝生を頻繁にきれいにしてほしい。
- 散歩していて歩道の両側が草ぼうぼうで手入れが追い付いていない。スーパーの駐車場の雑草の手入れがされておらず、駐車しづらくて困る。
- 広域交通は便利なのだが、まちなかの交通が不便。地域交通の利便性が増せば、もっと人を呼び寄せられるまちになる。アプリで配車できる仕組みなどが必要では。
- 通勤する際、白岡駅までの便が悪いので、特に悪天候時に困る。今年の3月に、けんちゃんバスが運行終了したが、これまでも民営や市営のバスがなくなった。公共交通機関には期待しているので、継続的に運行してほしい。茨城県境町を参考に、自動運転バスを検討してはどうか。
- 歩行者、自転車にとって優しいまちではない。今後、自転車走行レーンの整備等も必要ではないか。
- 白岡駅東口のロータリーが交通の阻害要因になっている。狭い場所にロータリーは必要ないのでは。
- 全国的に減少しているのは承知しているが、本屋がないのは寂しい。
- イチゴノオカと梨団地だけが白岡市の農業ではない。多くの一般農業経営者、小規模な農家さんが農業を持続できるような、利益を得られる仕組み、取組が必要である。
- 耕作放棄地が増加している。現役の担い手や今後就農したい人たちを交えて、白岡市の田園をどう守っていくのか、農業をどう維持していくのか、意見交換すべき。
- 農地は維持するのが大変だが、もっと農地を活用し遊ばせないようにする必要がある。農地集約しても、近隣市では手入れが行き届いていないケースもみられる。
- 特産の梨を生産する農家が減っている。知名度のあるものをもっとアピールできるとよい。
- 虫食い状に宅地化した地域がある一方、市街化調整区域でも今後は宅地等として発展させるべきと思われる地域もある。土地利用にメリハリがほしい。
- 地区内に防災行政無線が聞こえない。いざという時、高齢者が逃げ遅れてしまう。
- 八潮市の陥没事故を受けて、下水道管の点検や整備など対策を進めてほしい。
- 白岡中学校の隣に中央総合病院が移転するが、周辺の道路渋滞が心配。
- 病院によっては、キャッシュレス決済ができず現金払いのみで困ることがある。
- 市内にホテルなど宿泊施設をつくって、仕事や観光で来訪した人が利用できるようにするとよい。
- 市役所の改築に向けて、公共施設はシンプルで長くもつものがよい。建物中央に空間をつくるなどのおしゃれさよりも、会議室を設けて使いやすくした方がよい。

※【わたしの幸せ】【未来の白岡市での幸せ】については、まとまって話されなかったが、【生かせるもの】(良いところ)、【必要なもの】(気になるところ)から伺い知ることができる。

白岡市での幸せを感じるためのキーワード

特色ある教育の展開、学校を拠点とした集まる場づくり、
地域交通の利便性確保、農業の持続的な発展 など

(3) 第3回ふれあいミーティングの意見概要

<p>【わたしの幸せ】</p> <p>—</p>
<p>【未来の白岡市での幸せ】</p> <p>○地域のどの価値を高めるのかが大事。人を集めるためにも早急に着手が必要である。</p> <p>例えば、自然を生かしたにぎわいの場、アクセスの良さを生かした産業振興などが必要である。</p> <p>○人がよいので、人づくりによって地域や住民の力を高め、子どもや高齢者、障がい者も安心して暮らせるまちにする。</p>
<p>【生かせるもの】(良いところ)</p> <p>○生活利便性がよい(医療、安全)。災害が少ない。近隣に商業施設(モラージュなど)があり、自動車があれば買物しやすい。白岡中央総合病院がある。</p> <p>○自然がある。田んぼ、畑、川、沼があるのがよい。静かでよい。富士山がきれい。</p> <p>○梨のブランド力があり、農業をやるのにはよい地域である。梨のオーナー制を取り入れてはどうか。</p> <p>○自然の豊かさを生かして農業をしながら、いい教育を受けられるまちにできないか。小中を合わせて義務教育学校としたり、市内で小中1校に集約して特色ある学校づくりをしてはどうか。少人数教育や特別支援教育、部活動にも対応できる学校に。</p> <p>○柴山沼がうまく活用されておらず、もったいない。大山地域を知ってもらおうきっかけとなったらよいが、新しい人がたくさん入って来ることにも不安はある。</p> <p>○柴山沼に道の駅のような施設をつくり、フラワーパークや子どもの遊び場、商業施設などをつくれれば集客できるのではないかと。柴山沼を拠点としたにぎわいづくりについて、大山地域活性化協議会から提案書を提出済み。</p> <p>○周辺や都心からの利便性が高く、東京の通勤圏である。物流の拠点にもなっている。アクセスの良さを生かしたビジネス展開に向け、県や全国に目を向けてはどうか。</p> <p>○これまで大山地区は、長らく何も変わらず今のような状況になっているが、開発潜在能力、ポテンシャルがある。</p>
<p>【必要なもの】(気になるところ)</p> <p>○大山小学校がなくなってしまい、漠然とした不安がある。上の世代の人が地域を守ってくれているが、自分たちの世代が担うことを想像すると不安である。校庭も荒れて苦情が来ている。草ぼうぼうの校庭の草刈りは見かねて地域住民でやった。地域が終わっていったってしまうというネガティブな気持ちがある。</p> <p>○夢も希望もない。大山小学校を返してほしい。</p> <p>○大山小学校を防災拠点にするならば、土地が低いから、避難道路を高くして、たどり着けるようにしないとイケない。</p> <p>○お祭りやイベントを行ってもまちづくりにはつながらないのではないかと不安な気持ちである。</p>

- 将来を考えると不安の方が多い。蓮田市にも倉庫ができて、人は来ないのにトラックばかり来ている。人が減っていくのは仕方がないが、田舎の良さが失われている。
- 元荒川は、春と秋の年2回しか草刈りをしないから荒れていて、ごみも捨てられている。きれいにしておくことで、初めて田舎の良さを発揮できる。
- 生まれも育ちも白岡だが、好きなところは正直ない。大山地域から白岡駅まで片道30～40分かかり、白岡工業団地と物流倉庫があるために渋滞している。
- 篠津や駅前が開発されているが、大山地域は取り残されているという思いがある。
- 柴山地区を良くするのであれば、蓮田市、伊奈町まで行けるよう道路を延ばしてほしい。
- 生活するのに自動車が必要。大山地域にバスを通す計画があってもよい。住民も高齢化してきて、買物難民が出ている。
- 駅前再開発でロータリーを広くして、車での送迎をやすくしてほしい。
- コンパクトシティという概念は専門家の間では崩壊している。都市計画の中で、駅周辺に集約するだけでなく、地域の拠点づくりが必要。身近で生活満足を感じられるように、例えば東西2つに交通網や福祉施設等を整備する。
- 空家が増えているので、持ち主に働きかけるなど対策しないと、柴山・大山の良さを生かせない。環境整備に力を入れてほしい。
- 都市計画について、昭和時代から宅地利用している土地には家を建ててもよいとするなど、工夫してほしい。分譲住宅ができて何十軒も一気に増えると問題かもしれないが、人口が増える工夫が必要だと思う。
- 若い人が出て行っても、帰って来てもらいたい。新しい人が来て住めるように、宅地開発にすぐに取り組むべきである。
- 農業は儲からない。新規参入が難しい。団塊の世代が農業を辞めると後継者がいないので、担い手が増えるよう支援が必要。
- 農業法人では、草刈りなど管理が行き届いておらず荒れている。
- 田んぼ、畑、川、沼があるのは良いが、柴山沼を魅力ある沼となるよう、駐車場や周辺に飲食店をつくるなど整備する必要がある。周辺の草の管理も問題。柴山沼に昼食をとる場所もないので、2～3年以内の早急に計画してもらわないと困る。
- 土地利用の規制が厳しく、IC周辺の開発が進まない。大山地域にも雇用の場の創出を検討してほしい。
- 白岡菖蒲ICができたが、商業施設の誘致には失敗した。新白岡にアウトレットモールがあったらよい。大きな施設をつくる必要はなく、小さなテナントの集まりでよい。キャンピングカーなどが停まれるバーベキュー広場もあるとよい。交通の流れも考えて、休憩所や農家の直売所を設けることもできる。人の動線を考えて計画を立ててほしい。
- もやし工場をつくっても人口は増えない。運転のとても荒いトラックが増えるだけである。雇用される人もほとんど外国人で日本人はほぼいない。

○外国人住民の増加が心配。集団での居住、コミュニケーション、ゴミ出しなどの生活ルールが心配。子どもの通学時に重なり、自転車の交通ルールも心配。共生に向けた対策（言葉や生活ルール）が必要。

○核家族化、人口減少、若者の流出が進んでいる。利便性や合理性だけを追い求めずに、人口減少をなるべく緩やかにしていく必要がある。

【その他】

○若い人からも意見を聞いた方がよい。その上で、10～30年後を見据えた計画を策定してもらいたい。

○前期計画の進行管理はどうなっているのか。市民から意見を聞いても実施しないと意味がない。約30年前から柴山沼の観光地化の話はあるが実行されていない。何がネックでできていないのかを知りたい。

※【わたしの幸せ】【未来の白岡市での幸せ】については、まとまって話されなかったが、【生かせるもの】（良いところ）、【必要なもの】（気になるところ）から伺い知ることができる。

白岡市での幸せを感じるためのキーワード

特色ある学校づくり、柴山沼を活用したにぎわいづくり、交通安全、田舎の良さ（自然やコミュニティ）を残す、持続可能な農業 など

(4) 第4回ふれあいミーティングの意見概要

<p>【わたしの幸せ】</p> <p>—</p>
<p>【未来の白岡市での幸せ】</p> <ul style="list-style-type: none">○白岡の知名度や価値を向上して、若い世代を増やす。そのためにも、行政の情報発信内容の充実、頻度の向上が必要。○住民のパワーをもっと活用するための環境を整えるとともに、新旧住民や世代間など地域全体のつながりを強化する。
<p>【生かせるもの】(良いところ)</p> <ul style="list-style-type: none">○(田園都市線沿線などと比べ)白岡ニュータウンはフラット(平坦)で緑が多く、こんなに素晴らしいまちはない。住むとよいところ。埼玉の田園調布、憧れの新白岡。○交通の利便性がよく、東京や上野、羽田空港にも行きやすい。○駅まで徒歩で行き来できるニュータウンは希少である。地価が比較的安い。○程よく自然の風景が残っている。駅のすぐ近くに田園豊かな景色が広がる。ネギ畑から朝日を見られる。夜は静かでカエルの声がするほど。キジやカワセミがいる。梨が名産。○東武動物公園が近い。久喜白岡JCTがラジオで出てくる。○イチゴノオカが知名度アップのきっかけになるのでは。○子育てに適している。子どもたちの友人関係は良好で、いじめも聞かない。山王クリニック(産婦人科)が有名。○教育環境が安定していて、白岡の教育は素晴らしいと市外からも言われる。○平坦な道が多いので、散歩や子どもの遠足もしやすい。○道路の幅が広く舗装されていて、車いすでも移動しやすい。○家族が大病をしても、駅までのアクセスのよさ、退職後もやりがいや生きがいを感じられるおかげで、生涯にわたって暮らしやすい。○エリアマネジメントでたくさんのイベントを実施している。令和クラブなど多数の市民活動グループがある。
<p>【必要なもの】(気になるところ)</p> <ul style="list-style-type: none">○白岡の知名度が低い。市外の人はどこか分からない。市外に向けた発信が必要。梨の知名度は低い。○白岡の価値を上げるため、ランドマーク的なものがあればよいのではないか。○白岡ニュータウンが高齢化しており、若い人が住んでくれない理由として、知名度のなさ、物件の少なさが考えられるので、住む場所を確保したり、補助してはどうか。駅近くにまだ土地はある。○東急不動産との包括協定をもっと活用する必要がある。新白岡駅と東武動物公園間の道路を拡充したり、更地を生かしてはどうか。

- 作業所の就労支援を利用するに当たり、トイレのバリアがあって断念した。一事業所では解決できないことを、行政に対応してほしい。
- 高齢者や障害者の居場所がもっと必要。例えば、上野田地区の「そらのいえ」は古民家でバリアフリーでないので、新白岡にバリアフリーの居場所があるとよい。障害者が働くカフェなどもあるとよい。
- 託児所や保育所の整備が必要。
- 子どもが緊急時にかかる病院がない。普段や緊急時は市外の病院を利用し、現状で不便ではないが、市内で救急医療が受けられれば、子どもも高齢者も安心できる。
- 新旧住民や世代間のつながりなど、地域全体としてのつながりがない。
- きれいなホテルがあれば、色々な人が集まれてよい。ビジネスや観光利用など。
- 都心でメンタルダウンしている人を、都心に近い白岡の自然の中で癒せるよう、就農体験などにより、プチリトリートの先進地にしてはどうか。
- 都市公園の草刈りや管理等に当たって、住民の力（パワー）をもっとうまく活用してほしい。あれもこれもやっちゃダメではなく、まずはやってみて、問題が出たら対応すればよい。何かしたいと思っている人はたくさんいるので、一歩踏み出せる環境づくりが必要。
- 白岡ニュータウンで育った子どもが、親になり、家庭菜園や道路のゴミ拾いを率先しているので、こういう想いを生かしてはどうか。
- 行政はPR不足で、市民が知りたい情報を伝えられていないのでは。情報発信のスピード感がなく、SNSの更新頻度も低い。災害時にSNSを役立てるためにも日常から市民に活用してもらうための工夫が必要。

※【わたしの幸せ】【未来の白岡市での幸せ】については、まとまって話されなかったが、【生かせるもの】（良いところ）、【必要なもの】（気になるところ）から伺い知ることができる。

白岡市での幸せを感じるためのキーワード

白岡の知名度や価値の向上、PR・情報発信、住民の力の活用、
地域全体のつながり強化 など

(5) 第5回ふれあいミーティングの意見概要

【わたしの幸せ】 —
【未来の白岡市での幸せ】 —
【生かせるもの】(良いところ) ○広域的な交通の拠点性があり、市外への通勤・通学、買物などの利便性が高い。これに加えて地価が手頃だということもあり、人口増につながっているのだろう。 ○交通利便性がよく(JR線、圏央道)、大宮と久喜の間にある。物件が入手しやすく、駅近は生活が便利である。 ○蓮田市のいう「とかいなか」と同様に、都会と田舎のよいところがあり、自然が残っている。 ○自然災害が少なく、治安もよいので、安心して住むことができる。 ○生活利便性が高く、緑も豊かで、子育てしやすい市だと感じている。学校が“荒れて”おらず、教育が安定しているのも良い。安心して生活できる。 ○子どもの教育が安定している。学校が荒れていないのは、保護者が協力的だからか。白岡市への異動を希望する教員も多い。図書館が良く、絵の展示なども行われている。 ○《内なるにぎわいづくり》子どもから高齢者まで多世代が暮らし、スポーツも盛んで、仲間づくりがしやすいのも良いところと感じている。 ○ちょうどよく、まとまりやすい規模感のまちである。複数開催されているマルシェは子どもにも人気で、地区ごとのイベントや祭りも行われている。 ○梨の産地であることは、市民の共通理解としてあるのではないか。「白岡美人」など、梨の品種やブランド化への取組を市民にもっと知ってもらえれば更に良い。 ○梨のほか、トマトなど農産物が豊かである。また、食文化・グルメに関する取組も行われている。 ○これからのまちづくりは、市民・団体・事業者・市役所等の連携が重要である。多世代が暮らす白岡市では、まちづくりへの参加を通じて愛着を育み、定住につなげていくことも有効だろう。 ○愛着を育てれば、自発的に白岡をPRしてくれる市民も増えるだろう。友人に白岡産の産物を贈る、SNSで発信するなど。口コミも重要である。 ○イチゴノオカを生かして、白岡独自の路線を歩んでほしい。例えば、情報のまちにするも考えられる。 ○市のLINEで区の情報(イベントや祭り等)を広く周知してはどうか。 ○行政は、市民の要望にどう対応したかを示してはどうか(例:川崎市)。できないことは聞いて終わりではなく、できないと言えよ。 ○住みやすいまちより一歩進んで、住みたいまちにしたい。

○住宅地としての住みやすさと、税収の確保をうまく両立してほしい。

【必要なもの】（気になるところ）

- 広域的な交通の利便性が高いというが、JR宇都宮線の白岡駅停車本数の増便や高速道路へのアクセス性向上など、更なる利便性向上も求められないか。
- 市外への交通は確かに便利だが、市内の交通はどうか。バス路線の維持・利便性の向上が求められる。駅から離れた住民の買物の足の確保のためにも、循環バスや境町のような自動運転バスなども検討してはどうか。
- 市域がJR宇都宮線・新幹線・高速道路で分断されており、自動車での移動が不便。クルマ移動の東西軸を強化すべき。
- 《内なるにぎわいづくり》子どもや若者、子育て世代の居場所づくり、交流の場づくりについては、更なる取組が重要。他方、高齢者のケアについては、個人情報保護が壁になる例もある。
- 《外からのにぎわいづくり》白岡駅周辺のにぎわい拠点性が低い。道路整備や店舗の出店も進められているが、“泊まる”“集う”などの目的性ある、滞在できる仕掛けがほしい。
- おしゃれで魅力ある飲食店や商業施設がない。ただ、都心にあるようなものがほしいと欲張らずに、地元にある店などを市民が積極的に利用した方がよい。
- 自慢するところがあまりない。鎌倉などと比べて文化面が遅れている感がある。
- 高度な治療ができる病院があればよい。
- 耕作放棄地で特色ある野菜（無農薬など）を作ってはどうか。
- 知名度が低く、市外に住む友人への説明に窮することもある。大宮の先、久喜の手前などと説明しているが……。もっとPRが必要ではないか？
- 【白岡と言えば】で何か1つ、魅力を創りたい。他市から人を呼べるような。イチゴノオカがそうなのだろうが、イチゴかな？という感もある。他所と差別化したい。
- 農産品、食文化・グルメに関する取組を地域ぐるみで応援する機運が出来ればよい。B級グルメコンテスト等に参加しているが、地域ぐるみで応援されている例もある。
- 土地利用そのものや面的な整備手法について、見直しの余地がないか。実現性の低い計画はより適切な手法を検討したり、あるいは、やめてしまっても良いと思う。
- 空家の増加が気になる。駅前の店舗が長続きせず、空き店舗も問題。対策を進めるべき。

※【わたしの幸せ】、【未来の白岡市での幸せ】についてはまとまって話されなかったが、【生かせるもの】（良いところ）、【必要なもの】（気になるところ）から伺い知ることができる。

白岡市での幸せを感じるためのキーワード

駅周辺のにぎわいづくり、白岡らしい魅力の創出、
PR・情報発信、多様な主体の連携 など